

専業主婦に必要な補償とは～リスクと医療費～

～ママFPのひとりごと⑨～

ファイナンシャルプランナー 鈴木さや子

ママ向けのマネーセミナーやご相談を行っている中、よく訊かれる質問が「専業主婦も保険に入るべきでしょうか？」というもの。たしかに収入のない専業主婦に、一見保険は不必要に思えます。しかし本当にそうでしょうか。

今月と来月の2回に分けて、専業主婦に必要な補償は何かを考えてまいりたいと思います。

1. 専業主婦が抱えるリスクとは

日常生活において、専業主婦が入院や死亡で抱える代表的なリスクは、家事をする人がいなくなることでしょう。また子どもがいる場合はそのリスクはさらに大きくなります。

専業主婦に万が一のことがあった場合、どのような影響があるのでしょうか。

	家庭におよぼす影響	リスク対応手段
ケガや病気により長期入院した場合	<ul style="list-style-type: none">・医療費、見舞い費がかかる 【小さい子どもがいる場合】 <ul style="list-style-type: none">・家事、学校・幼稚園などの会、習い事送迎などのために夫が仕事を制限・子どもの面倒を見るため、保育所・託児所・シッターなどを利用	医療保険 ガン保険 貯蓄
死亡した場合	<ul style="list-style-type: none">・葬儀、お別れの会を開く 【小さい子どもがいる場合】 <ul style="list-style-type: none">・子どもの面倒を見る、子どもの心のケアのために、夫が仕事を制限、転職するなどの可能性あり	定期保険 貯蓄

ざっと項目を眺めてみても、どれもお金がかかることばかりということは明らかです。収入のない専業主婦でも、万が一の時に家計に与える影響がないとは言えないようですね。

2. 専業主婦が入院した場合

次に、専業主婦が入院した場合、家計に与える影響はいくらくらいなのかを考えていきましょう。

入院が長期にわたるなどして1ヶ月の診療費が高額になった場合は、健康保険から、高額療養費として一定の金額が支給してもらえます。そのため過度な補償は不要だと思います。健康保険で支給してもらえない、差額ベッド代+入院時の食事代や、見舞いのための交通費などを準備すればよいでしょう。

【女性の入院における自己負担額と日数】

<p>女性の 入院一日あたりの自己負担額 (※)</p> <p>平均約 16,000円</p> <p>*食事代、差額ベッド代などを含む、 高額療養費制度を利用した場合は利用後の金額</p>	<p>5,000円未満：14.0%</p> <p>5,000～7,000円未満：11.1%</p> <p>7,000～10,000円未満：12.6%</p> <p>10,000～15,000円未満：22.7%</p> <p>15,000～20,000円未満：9.2%</p> <p>20,000～25,000円未満：7.2%</p> <p>25,000円以上：23.2%</p>
<p>女性の直近入院時の入院日数 (※)</p> <p>平均約 18.0日</p>	<p>5日未満：11.5%</p> <p>5～7日：23.7%</p> <p>8～14日：32.1%</p> <p>15～30日：22.0%</p> <p>31～60日：6.6%</p> <p>61日以上：4.2%</p>

(※)生命保険文化センター「生活保障に関する調査」/平成22年

このデータを見ると、一般的な入院における自己負担額は10,000～15,000円くらい、日数は長くても30日以内で考えてよいと言えるでしょう。差額ベッド代なども含まれていますので、個室などにこだわらなければもう少し入院費用を抑えられますね。

～女性のガンのリスク～

女性の場合、男性に比べ若い世代において、女性特有の子宮ガンや乳ガンなどのリスクが高いことに注意が必要です。ガンの治療で先進医療などが必要になった場合は高額な負担が生じることもあるかもしれません。

【ガンの治療に活用される代表的な高額先進医療の例】

先進医療の名前	一件当たりの技術料	平均入院日数
重粒子線治療	2,953,650円	20.9日
陽子線治療	2,676,840円	17.8日

(※)厚生労働省「平成23年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績報告について」より筆者作成

先進医療を受ける場合の入院日数は、特に長いというわけではありません。入院補償のほか、高額になるかもしれない治療費（高いものでは300万円近く）を一時金として手当しておくことが、リスク対策のひとつとして有意と言えます。

先進医療については、当コラムの平成23年9月掲載分でも詳しく取り上げておりますので、ご覧いただけたらと思います。

収入のない専業主婦でも、入院するリスクに備えて、保険や貯蓄で「お金の準備」をしておいた方がいいということがお分かりいただけましたか？次回は万が一専業主婦が死亡した場合、そして保育に必要なお金について考えていく予定です。

《今月のお気に入り曲》

管弦楽のための協奏曲
／バルトーク作曲
ハンガリーを代表する作曲家、バルトークの代表作です。
管楽器のソロが入れ代わり立ち代わり登場する、管楽器奏者冥利に尽きる名曲。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.